

歌舞伎役者 片岡仁左衛門 登仙の巻 (1995)

メディア 映画
ジャンル ドキュメンタリー
製作国 日本
色彩 Color
時間 158分
初公開日 1995/12/23
公開情報 BOX 東中野
リバイバル 2005/09/10 [自由工房]

【解説】

歌舞伎俳優・十三代目片岡仁左衛門の、1987年から1994年までの舞台、芸談、稽古場や日常を撮影した記録映画。全六部作で上映時間は延べ10時間46分。監督は数多くのドキュメンタリー作品を手がけてきた羽田澄子。本作は1992年に公開された「若鮎の巻」「人と芸の巻 上」「人と芸の巻 中」「人と芸の巻 下」「孫右衛門の巻」に続く第六部となる。数々の歌舞伎名役者の出演も見どころ。

1991(平成3)年に新装開場した南座で、仁左衛門は「楼門五三桐」の演目にて石川五右衛門を初役で務める。1992(平成4)年には「江戸絵両国八景」の相模屋政五郎役、同年10月「元禄忠臣蔵」の新井勘解由役など、真山青果作品で重厚な演技で観客を魅了した。1993年11月南座公演の「鬼一法眼三略巻」鬼一役、そして最後の舞台となった同年12月「八陣守護城」の佐藤正清役の演技を伝える。1994(平成6)年3月26日、十三代目片岡仁左衛門は90歳でこの世を去った。

【クレジット】

演出 羽田澄子
製作 工藤充
撮影 西尾清
宗田喜久松
佐藤和人
出演 片岡仁左衛門
片岡喜代子